新潟県中越地震
災害義援金

総額284万8,350円
ご協力ありがとうございました

11月上旬、各地区の区長さん・隣組長さんを通じて、町内各世帯に対して災害義援金の募集をお願いしたところ、多くの方々からご協力をいただきました。

大変ありがとうございました。

皆さまからいただきました義援金は、町で取りまとめた後、県災害対策本部を通じて被災者の方々へ届けられます。

— 横越町 —

災害に便乗した悪質商法にご注意ください！

過去の地震災害時に、各地の消費生活センター等に寄せられた相談事例を見ますと、被災した家屋の耐震診断や補強工事などに関連してトラブルが多発しています。

今回の中越地震に便乗した悪質な商法には十分注意してください。

●訪問販売・電話勧誘を受けたら

「耐震診断に来ました」「何か困っていることはありませんか」などと、あたかも無料で行うサービスのように近づき、後で法外な料金を請求する業者もありますので、よく確認しましょう。

その場ですぐ契約せず、慎重に検討しましょう。「このままでは次に地震が来たら倒壊する」などと不安をあおったり、「今日契約すれば半額にする」などと契約を急がせる業者は要注意です。

●被災した家屋の修繕などを業者に依頼する場合は

親戚、友人、知人などに相談し、信用のおける業者を選びましょう。また、できるだけ複数の業者から見積りを取り、妥当な価格かどうか確認しましょう。

「市から頼まれています」「消防署の方から来ました」など、役所を名乗る電話勧誘や訪問販売も予想されますので注意しましょう。

契約する場合には、必ず、業者名と連絡先（住所や電話番号等）が書かれている契約書や領収書を受け取りましょう。契約書や領収書を出さない業者は要注意です。

電気・ガス・水道・電話設備の点検などについても同様です。

●もし契約してしまっても…

訪問販売や電話勧誘での契約は、多くの場合クーリング・オフ制度により、契約しても、契約日から8日以内であれば無条件で解約することができます。

解約する旨を記載したハガキを、送ったという証拠が残るように配達記録郵便で送ります。この場合、送ったハガキのコピーもとりましょう。

●相談先

「解約したい」「クーリング・オフの方法を知りたい」という場合には、早めに県消費生活センターへ相談しましょう。

・新潟県消費生活センター相談電話
☎281－5515
・相談時間　毎日午前9時～午後10時

災害義援金について

県では、郵便振替や金融機関での振込などにより、被災された方々に対する災害義援金を受け付けています。

また、義援金受付団体の名前をかたる詐欺事件も発生していますので、ご注意ください。

●義援金についての問い合わせ
県出納局管理課
☎280－5484

ご厚志に感謝

10月23日に発生した新潟県中越地震の被災地への義援金として、次の方々より町へ寄付がありました。

横越町ゴルフ同友会より4万円、小杉ゴルフコンペより4万円、横越町陶友会より10月30日・31日開催の中央公民館文化祭での即売会売上金より3万円。

これらの義援金は、県災害対策本部を通じて被災者の方々へ届けられます。

大変ありがとうございました。

救急救命講習を受けてみませんか

亀田町消防署横越町分署では、《救急車が来るまでに》をテーマに、町民の皆さまに応急手当講習会を開催します。

もしもの時の備えとして、この機会にぜひご参加ください。

なお、講習会受講者には、普通救命講習修了証を交付します。

◆日　時　12月12日(日)　午前9時～正午
◆受　付　午前8時30分～9時
◆会　場　亀田町消防署横越町分署　2階　講堂（いぶき野1）
◆定　員　30人（中学生以上）
◆内　容　心肺蘇生法・止血・その他の応急手当
◆服　装　体操着など活動しやすい服装
◆申込・問い合わせ　横越町分署　☎383－2211

12月11日(土)までにお申し込みください。（当日でも可）

変化を続ける小中学校の文化祭

地域と学校が一緒に手をつないだ体験活動

小学校で横小フェスティバル

10月24日、横越小学校で横小フェスティバルが開催されました。

作品だけを展示する従来の文化祭とは異なり、保護者・地域・学校が協力しながら、多くのイベントや体験コーナーを通して、子どもたちにふだん味わうことのできない体験活動を楽しんでもらおうと、昨年度から内容を大きく変えて行われています。

各教室では、絵手紙や折り紙、カラフル版画などの創作体験ができるコーナーが設けられ、子どもたちはボランティアの説明を受け、目を輝かせながら取り組みました。

一方、体育館内では、町内の和太鼓グループによる演奏と、読み聞かせグループによる絵本シアターが行われました。力強い太鼓と笛の響き、体いっぱいに表現される踊り、大スクリーンに映し出された絵本を目の当たりにして、子どもたちは真剣に聴き入っていました。

また、授業で作った絵画と工作作品も展示され、学校内は子どもたちの歓声が響いていました。

真剣に水墨画に挑戦する小学生

力作が並んだ中学校作品展

エネルギーあふれる太鼓と踊りを楽しむ

ふだんの生徒たちの姿をみてもらおうと

中学校で授業のある日に作品展

例年、横越中学校では文化祭の日に作品展示と合唱コンクールを行ってきましたが、今年度は、10月23日に合唱コンクールのみを開催し、11月13日に作品展示を行いました。

多目的教室などでは、デザイン画や自画像などの絵画、家具など細部まで工夫した住宅模型、書道、木工作品などが並びました。また、総合学習で調べた町の特産品や合併問題などの地域学習（1年生）、消防士や美容師などの職業調べ（2年生）、修学旅行で学んだ京都の歴史や文化などの調査結果（3年生）も展示され、保護者などが多く訪れました。

作品展が開催されている一方で、同時に各教室などでは通常通りに授業が行われ、問題に答える生徒の姿や一生懸命に説明する先生の姿など、ふだんの学校の様子に触れることができました。

実際に川周辺を歩き、地域の良さを再発見

秋の小阿賀野川かわ歩き

新潟地域振興事務所の主催により、「秋の小阿賀野川かわ歩き」が開催されました。

振興事務所では、阿賀野川と信濃川を結ぶ小阿賀野川とその周辺の良さを再発見するため、地図を見ながら名所や風物詩、特産品などを確認するワークショップをこれまで行ってきましたが、今回は自分の目や足などで実際に確かめようと企画されました。

寿橋を渡る参加者たち

10月30日、約30名の参加者たちは二本木地区コミュニティセンターを出発した後、新津側と横越側に分かれて、沢海の農村環境改善センターまでの約6kmの川沿いを散策。梨畑や各地の史跡に立ち寄り、同行した県職員などから歴史や自然などの話を聞き、小阿賀野川地域の良さを再発見しました。改善センターに到着後、横越産の野菜や豚肉がたっぷりの横越鍋、新興梨などを味わい、舌でも地域の良さを確かめました。

11月13日には、コースを変えて二本木から信濃川合流点までを散策しました。

大津切れを伝える石碑前で歴史を学ぶ